

入曽地区 入曽駅・東コース

(文化財、不老川、水野の自然)

総距離 7 km (ショートコースは 5 km)

歩数 11000歩

時間 2時間

消費カロリー 220kcal



入間野神社前の鎌倉街道案内板 不老川のたたずまい 不老川の鴨たち 東屋 四季の花いっぱい



② 入間野神社

1191年の創建と伝えられている。毎年10月に金剛院で県指定無形民俗文化財の『揃い獅子』が行なわれ、入間野神社に『入曽の獅子舞』が奉納される。



観音堂・七曲井(ななまがりのい) 入間地区に現存する最古で最大の史跡。直径最大で2.6m、深さ11.5m程のすり鉢の形をした古代の井戸(マイマイズ井戸)。上縁部は階段状、中途から底近くまでは曲がり道になっている。



常泉寺

天正年間に創立し、元禄2年、掘井の地(現在の観音堂がある地)から現在地へ移築。明治18年火災に遭い、明治20年再建した。弘法大師の像がある。



③ 野々宮神社

創立年代は不詳であるが奈良・平安時代につくられたと推定される古代(かめ)がありその創立の古さを偲ばせる。祭礼には文政年間から伝えられる市指定文化財の入曽囃子が奉納される。



④ 山王様

1672年入曽村の有志が村の息災を願って勧請したもの。その姿は青面金剛と猿で、猿は神の使者の意と思われる。



⑩ 化け地蔵

1685年45人の村人によって祀られた。他に『夜泣き地蔵』『地守り地蔵』などといわれる。名称の由来については、ユニークなたくさんの説がある。

